	政策ディベート	15.0	研修員の間での公共政策の在り方に関する討議を通じて、幅広い観点から物事を考えることを学ぶ。また、対立した二つの立場や客観的な審判という立場でそれぞれ考えることにより、相手に受け入れられる効果的な説明をするための論理的思考力を養い、相手の意見を的確に把握することを身につける。
	防災・危機管理	5.5	未曾有の災害となった東日本大震災の教訓を踏まえ、我が国の行政における防災・危機管理の在り方、防災等に関して政府の果たすべき役割などについて理解し、意識を高める。
公正な公務運営について学ぶ	公文書の意義とその管理	2.5	行政機関における公文書管理の意義、我が国の現状とその問題点について、講義を通じて理解・意識を高める。
	接遇	1.0	国民全体の奉仕者として、行政サービスの受け手である国民等にいかに対応すべきかを考え、学ぶ。
	健康管理（メンタルヘルスを含む）	2.0	現在、職員を取り巻く環境や様々な要因からストレスが増え、メンタル面でのセルフケアの必要性が増大している。このため、メンタルヘルスに関する理解を深めるとともに、職場での人間関係や組織運営の在り方の改善などストレスへの対応について考える契機となるよう、講義及び演習を行う。
体験を通して上記（使命と職責、公共政策の在り方、公正な公務運営）について考える	介護等実地体験	A・Bコース　46.5 C・Dコース　39.5	社会福祉施設における介護補助業務等の実地体験を通じて、社会や地域の在り方について考え、国民の立場に立ってものを見ることの重要性を学ぶ。
	地方自治体実地体験	A・Bコース　34.0 C・Dコース　44.0	地方自治体行政の現場を訪問し、実地体験や自治体職員、地域住民との意見交換等を通じて、地域の多様性、生活実態、住民の意識やニーズ等についての認識を深める。
	国際行政の現場	A・Bコース　2.0 C・Dコース　3.0	国際的な業務の最前線で活躍した経験に基づく生きた話を聞き、国際情勢や我が国の置かれている立場、諸外国との交渉や国際協力の在り方などについて認識を深める。
諸行事	開・閉講式、オリエンテーション等	A・Bコース　9.0 C・Dコース　8.0	
合　　計　151時間			

(注)　それぞれの科目につき、講義、討議、実習等の技法を組み合わせて実施している。

(3)　３年目フォローアップ研修

原則として(2)の初任行政研修を受講した者のうち、将来、本府省において政策の企画・調整の衝に当たることが期待される採用３年目の者を対象に、４コースに分けて４日間の研修を実施している。

平成23年度は、「公務員の在り方」についての現職の事務次官等による講義、社会問題の解決に事業方式で取り組む社会起業家等による講義、班別（６～７人）による「公務員としての２年間を振り返り、今後の公務員生活を考える」を課題とする意見交換などからなるカリキュラムにより実施した。

(4)　行政研修（課長補佐級）

本府省課長補佐級に昇任後おおむね１年以内の者のうち、政策の企画・調整の衝に当たる者を対象に、３日間の研修を８コース実施している。

平成23年度は、研修を比較的受講しやすいと考えられる夏季に集中的に実施し、また、新たに通勤コースを実施するなど、対象者の全員受講を目指した取組を行った。

本研修は、長期的視点に立って班別（６～７人）に政策提言をまとめる「政策課題研究」、行政課題等について多様な視点から班別に討議する「個別政策研究」のほか、「職業と倫理」に関する講義・演習、「コーチング」、「公務員への期待」などからなるカリキュラムにより実施した。

(5)　行政研修（課長補佐級）中国行政学院派遣コース及び韓国中央公務員教育院派遣コース

本府省の課長補佐級の職員を対象に、中国及び韓国への派遣研修を実施している。

平成23年度は、中国では訪問先を北京及び遼寧省として日中の公務員の意見交換や農村地域の現地視察などを行う派遣研修を１コース実施するとともに、韓国では訪問先をソウル特別市、クワチョン市及びセジョン市として日韓の公務員の意見交換や韓国の行政機関等への訪問などを行う派遣研修を１コース実施した。

(6)　行政研修（課長補佐級）リーダーシップ研修

各府省の課長補佐級の職員で、将来、本府省幹部職員として行政運営の中核を担うことが期待される者を対象に、平成23年11月から平成24年２月までの間に通算13日間の研修を１コース実施した。

本研修は、国家の在り方や行政の在り方について討議・発表する「課題研究」、府中刑務所などを訪問する「行政現場学習」、「駐日在外公館職員との意見交換」、小グループに分かれてテーマを設定し政策提案・改革ビジョンを作成・発表する「共同研究」などからなるカリキュラムにより実施した。

(7)　行政研修（課長級）

本府省の課長級職員を対象に４日間の研修を３コース実施した。

平成23年度は、「行政の在り方」、中国台頭と日米中関係、我が国の財政等をテーマとした「政策課題研究」、「古典に学ぶ」のほか、人事管理・組織管理を考える「マネジメント研究」などからなるカリキュラムにより実施した。

(8)　行政研修（係員級特別課程）

Ⅱ種試験又はⅢ種試験等により採用された係長昇任直前の職員で、各府省が将来の幹部要員として計画的に育成しようとしている者又はその選抜の候補となる勤務成績優秀者を対象に２週間の研修を２コース実施している。

平成23年度は、「公務員と職業倫理」、「政策課題研究」、「英語学習技法」、「コミュニケーション研究」などからなるカリキュラムにより実施した。